

平成 29 年度

愛媛県主催 第 1 回愛媛県在宅緩和ケア推進協議会

日 時：2017 年 9 月 11 日（月） 18:30～20:00

場 所：愛媛県庁内

議 題：1. 平成 28 年度の事業報告

2. 平成 29 年度の事業計画

出席予定者：太田多佳子、亀井敏光、谷水正人、戸梶泰伸、中橋恒、中矢孝志、藤井知美、
松本陽子、矢川ひとみ、吉田美由紀、愛媛県担当者

(1) 平成 28 年度在宅緩和ケア推進モデル事業報告

1) 在宅緩和ケアチーム連携モデル事業について

1. 医療法人聖愛会 非予算化事業

- ① 八幡浜、今治地区はモデル事業として予算化はできなかったが、モデル事業は引き続き継続し、症例のエントリーと症例検討会を継続して行っている。

(資料 1-1, 2)

- ② 大洲地区は、在宅医療推進事業としてがん以外の疾患も対象として大洲市で予算化し活動を拡大継続している。

(資料 1-1, 2)

2. 医療法人聖愛会 予算化事業

松山市医師会の松山市在宅医療支援センターからの委託事業

松山市の在宅緩和ケアに携る医療者を対象に症例検討会と一般市民向けの市民公開講座の事業を行っている。

- ① 症例検討会 (資料 1-1)

- ② 市民公開講座 (資料 2)

3. 医療法人聖愛会 予算化事業

- ① 宇和島地区 (平成 28 年度新規事業)

宇和島地区は、宇和島市独自の予算化はできなかったが、宇和島地区における在宅緩和ケアチーム連携推進事業として愛媛県より医療法人聖愛会へ予算化がなされ、症例検討会と運営委員会を開催し活動を行っている。

(資料 1-1, 2)

- ② コーディネーター養成事業

愛媛県から医療法人聖愛会への予算化の中で在宅緩和ケアチーム連携モデル事業の根幹の一つであるコーディネーター養成事業を全県的に推し進めている。

1. 在宅緩和ケアコーディネーター育成検討会議

6月27日、8月17日、10月11日 3回開催

2. 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会 開催（資料3）

(2) 平成29年度在宅緩和ケア推進モデル事業計画（資料4）

1) 在宅緩和ケアチーム連携モデル事業について

1. 医療法人聖愛会 非予算化事業

①今治地区はモデル事業として予算化はできなかったが、モデル事業は引き続き継続し、症例のエントリーと症例検討会を継続して行っている。（資料5-1,2）

②大洲地区は、在宅医療推進事業としてがん以外の疾患も対象として大洲市で予算化し活動を拡大継続している。（資料5-1,2）

③八幡浜・宇和島地区は、県の在宅緩和ケア体制構築のための人材育成事業として予算化されモデル事業を実施（資料5-1,2）

2) 医療法人聖愛会 予算化事業

1. 松山市医師会の松山市在宅医療支援センターからの委託事業

松山市の在宅緩和ケアに携る医療者を対象に症例検討会と一般市民向けの市民公開講座の事業を行っている。

① 症例検討会（資料5-1）

② 市民公開講座 2018年2月-3月 開催予定

2. 県の在宅緩和ケア体制構築のための人材育成事業として予算化

①宇和島地区（平成29年度新規事業）

宇和島地区における在宅緩和ケアチーム連携推進事業として、症例検討会と運営委員会の開催活動を援助

② コーディネーター養成事業（資料6）

愛媛県から医療法人聖愛会への予算化の中で在宅緩和ケアチーム連携モデル事業の根幹の一つであるコーディネーター養成事業を全県的に推し進めている

③平成30年度の他地区への在宅推進モデル事業の拡大のための準備（資料7）

1. 西条地区匂いてモデル事業を進めるための準備

・西条市長・西条市医師会長との協議

・本年中に来年度のモデル事業開催に向けての講演会開催を予定。

各地区事例検討会 一覧

今治地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2016/05/11	(今治の振り返り症例)	73	6	26	7	1	16	17	
2016/07/13	(今治の振り返り症例)	63	9	18	4	0	22	10	
2016/09/14	(今治の振り返り症例)	67	10	27	6	0	15	9	
2016/11/09	CVポートの管理について 済生会今治病院におけるCVポートの現状	74	6	36	7	3	18	4	
2017/01/11	(今治の振り返り症例)	65	9	22	7	1	19	7	
2017/03/08	(今治の振り返り症例)	72	12	27	5	1	17	10	
大洲地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2016/04/23	大洲振り返り症例	30	7	13	6	1	0	3	
2016/05/14	大洲振り返り症例	32	7	14	4	2	0	5	
2016/06/25	大洲振り返り症例	33	9	14	4	1	2	3	
2016/07/16	大洲振り返り症例	34	9	14	5	1	2	3	
2016/08/27	大洲振り返り症例	29	8	12	4	2	0	3	
2016/09/24	大洲振り返り症例	27	7	12	4	1	1	2	
2016/10/22	大洲振り返り症例	26	9	9	5	1	0	2	
2016/11/19	大洲振り返り症例	29	9	12	4	1	0	3	
2016/12/17	大洲振り返り症例	26	8	7	6	2	0	3	
2017/01/28	大洲振り返り症例	28	9	11	3	2	0	3	
2017/02/18	大洲振り返り症例	24	7	11	4	0	0	2	
2017/03/25	大洲振り返り症例	29	9	7	5	4	1	3	
八幡浜地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	歯科医	看護師 保健師	薬剤師	ケア マネ	その他	松山
2016/04/01	(八幡浜の振り返り症例)	42	9	1	22	2	2	3	3
2016/05/06	(八幡浜の振り返り症例)	45	10	1	24	2	2	3	3
2016/06/03	(八幡浜の振り返り症例)	42	8	1	23	2	2	3	3
2016/07/01	(八幡浜の振り返り症例)	40	9	0	22	1	2	3	3
2016/08/05	(八幡浜の振り返り症例)	42	9	0	24	2	2	2	3
2016/09/02	(八幡浜の振り返り症例)	44	11	0	25	2	1	2	3
2016/10/07	(八幡浜の振り返り症例)	42	8	1	24	2	2	3	2
2016/11/04	(八幡浜の振り返り症例)	41	5	0	29	0	2	2	3
2016/12/02	(八幡浜の振り返り症例)	35	4	1	24	0	2	1	3
2017/01/06	(八幡浜の振り返り症例)	38	7	1	24	0	2	1	3
2017/02/03	(八幡浜の振り返り症例)	32	6	0	19	1	2	1	3
2017/03/03	(八幡浜の振り返り症例)	45	7	0	28	0	7	1	2

宇和島地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2016/03/14	緩和モデル事業とは。今後の進め方、委員の決定								
2016/04/27	第1回症例検討 在宅看取り（あいほっと 山内）								
2016/06/22	第2回症例検討 がん性痛マネジメント（松山症例）								
2016/07/27	第3回症例検討 全人的苦痛に寄り添うケア（ゆらり 菅原）								
2016/08/24	第4回症例検討 病院での看取り事例（保健所・地下、市立・井上、あいほっと・山内）	36	12	14	3	1	2	4	
2016/09/28	第5回症例検討 第4回事例で症状マネジメント（市立 井上）	36	8	18	7	0	1	2	
2016/10/26	第6回症例検討 直腸がん末期患者の意志決定支援（市立 毛利 医師会 佐々木）	38	8	17	8	0	3	2	
2016/11/30	第7回症例検討 肺がん末期の困難事例（口羽医師・医師会佐々木）	21	5	9	3	0	2	2	
2016/12/28	第8回症例検討 肺がん末期で短期の帰宅を希望された事例（ゆらり 菅原）	30	10	10	2	2	3	3	
2017/01/25	第9回症例検討 乳癌末期の訪問看護導入について（やすらぎ上甲）	28	8	12	3	1	3	1	
2017/02/22	第10回症例検討 40歳代で胃癌術後転移癌で全盲・全介助となったA氏への療養支援（あいほっと・山内・市立井上）	49	6	23	6	1	5	8	
2017/03/22	第11回症例検討 40歳代で胃癌術後転移癌で全盲・全介助となったA氏への療養支援その後（あいほっと・山内・市立井上）	31	6	14	4	0	4	3	

松山地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
5月13日	頭頸部がんにおけるがん性創傷のケアについて 頭頸部がんにおける在宅ケアのポイント	49	18	13	4	2	9	3	
7月8日	呼吸困難のマネジメント 在宅で看取る家族をどのように支えてゆくか	68	13	33	6	2	9	5	
9月9日	在宅緩和ケアをスムーズ進める為の事前情報収集のポイントと初回訪問時の留意点 イレウスの緩和ケア的薬物療法のワンポイント	57	22	18	7	2	7	1	
11月11日	子を喪う両親の悲嘆をどのようにケアするのか 病状の変化に応じたアドバンスケアプランニングをどのように考え実行するのか？	48	11	17	10	0	7	3	
1月20日	予後の短い（日単位）患者・家族に関わる際のポイントは？ 想定していたよりも予後がずっと短いことが分かった時、どのような点に気を付けて関わると良いか？	46	15	19	6	2	0	4	
3月10日	がんの痛み治療について	57	16	25	6	2	3	5	

各地区の在宅緩和ケア実施件数と在宅看取り率

地域	実施年度	実施件数	死亡数	在宅死亡数	在宅看取り率
今治地区	2012年 5月－2014年 3月	28	28	12	43%
	2014年 4月－2015年 3月	21	21	13	62%
	2015年 4月－2016年 3月	18	17	8	47%
	2016年 4月－2017年 3月	6	5	3	60%
	全 期 間	73	71	36	51%
地域	実施年度	実施件数	死亡数	在宅死亡数	在宅看取り率
大洲地区	2012年 5月－2014年 3月	28	26	11	42%
	2014年 4月－2015年 3月	13	9	6	67%
	2015年 4月－2016年 3月	16	13	9	69%
	2016年 4月－2017年 3月	29	23	10	43%
	全 期 間	86	71	36	51%
地域	実施年度	実施件数	死亡数	在宅死亡数	在宅看取り率
八幡浜地区	2014年 4月－2015年 3月	18	17	10	59%
	2015年 4月－2016年 3月	28	22	10	45%
	2016年 4月－2017年 3月	41	26	17	65%
	全 期 間	87	65	37	57%
地域	実施年度	実施件数	死亡数	在宅死亡数	在宅看取り率
宇和島地区	2016年 4月－2017年03月	5	5	2	40%
	全 期 間	5	5	2	40%

市民公開講座

市民公開講座「かしこい“がん”との向き合い方」

日時：2017年2月26日(日) 午後1時～4時30分

場所：松山全日空ホテル サファアイルーム(南館2階)

対象：一般市民 在宅緩和ケアに関わっている方

参加人数：72名

内容

第1部

「がんになっても安心して暮らせる街づくりのために」

松山市在宅医療支援センター 副センター長 高須賀紀子

第2部

対談・シンポジウム

1. 対談

「がんと積極的に向き合い、住み慣れた家で自分の人生を全うされた患者様を支えたご家族様の体験談」

2. シンポジウム

司会 中橋 恒 (松山ペテル病院 院長)

シンポジスト

谷水 正人 (国立病院機構四国がんセンター)

西久保 直樹 (ペテル三番町クリニック)

白石 猛 (松山赤十字病院)

中矢 孝志 (ライフケア薬局)

矢川 ひとみ (愛媛県介護支援専門員協会)

吉田 美由紀 (ペテル在宅医療支援センター)

愛媛県在宅緩和ケア推進協議会主催 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会

日時 2017年1月21日(土) 9:30~16:30
2017年2月18日(土) 9:25~16:10
2017年3月4日(土) 9:25~16:30

場所 愛媛大学医学部看護学科

参加費 無料 定員 50名 (原則先着ですが地域・施設間で人数調整を行います)

【受講要件】①~③は必須 ④⑤は満たすことが望ましい

- ① 3日間の研修を全過程受講できる方
- ② 日常的にがん患者・家族の支援に携わっている方(年間10例以上)
- ③ 在宅緩和ケアについて、さらに熟達したコーディネート能力を身につける意欲がある方
- ④ 現在・将来的に、在宅緩和ケアの地域ネットワーク構築に携わりたい方
- ⑤ 研修受講後、各地域で開催される在宅緩和ケアコーディネーター会議(年3~4回松山での事例検討および地域の課題に対する解決策の検討)に出席できる方

【研修内容】

- 1日目 がんの基礎知識とがんの療養プロセス
療養の場の意思決定支援
- 2日目 苦痛緩和の基礎知識
在宅における苦痛緩和の工夫
がん患者・家族コミュニケーション
- 3日目 在宅緩和ケアにおける病院との連携・協働
在宅緩和ケアコーディネーターの活動と実際
在宅緩和ケアコーディネーターの役割と態度

<申し込み方法>

F A X : 089-935-7749 メール : yoshida@bethel.or.jp

申込期限 : 11月30日(水) 受講決定通知はメールで行います

申し込みの際、電話番号、メールアドレスを必ず記載してください。

平成 29 年度 事 業 計 画 (資料4)

1 事業概要

事業者名 (医療法人聖愛会)

事業の目的	<p>愛媛県全域における在宅緩和ケア推進事業として、平成 24 年度より大洲、今治、八幡浜、松山地区でチーム連携モデル事業を進めてきた。平成 28 年度より新たに宇和島地区でのモデル事業を開始している。平成 29 年度は、この流れを受けて以下の事業を目的として進めて行く。</p> <p>(一)八幡浜、今治、大洲、松山地区は、それぞれ独自にモデル事業を継続し、在宅緩和ケア推進協議会が各地区の要請を受ける形で人材育成を行う。事業予算は、各地区でそれぞれ立てることとして、医療法人聖愛会では予算化は行わない。</p> <p>(二)宇和島地区において、新たに在宅緩和ケアチーム連携モデル事業が平成 28 年度より開始となり、29 年度は事業の定着・推進を行う。</p> <p>(三)全県的なコーディネーター養成事業を平成 28 年度より本格的にスタートし、平成 29 年度は継続して推し進めてゆく。</p> <p>(四)全県的な在宅緩和ケア推進事業の展開のため、新たな地域へのモデル事業の啓発・普及活動を行う。</p> <p>以上、(二)、(三)、(四)の事業について予算化し事業を行う。</p>
事業内容等	<p>1. 宇和島地区在宅緩和ケアチーム連携モデル事業</p> <p>(1)在宅緩和ケア運営委員会 在宅緩和ケアチーム連携モデル事業のシステム構築に向けた宇和島地区での運営会議に参加し、アドバイス提言を行う。具体的な緩和ケアの進め方やモデル事業全体の方向性についての助言を行う。</p> <p>(2)在宅緩和ケア症例検討会 自験例を基に実際に即した在宅緩和ケアのための薬の使い方、ケアの在り方などを指導し、在宅緩和ケアに携るスタッフのスキルアップを図り、人材育成を行う。</p> <p>2. コーディネーター養成事業</p> <p>(1)在宅緩和ケアコーディネーター会議 各地区のコーディネーターと愛媛県がん看護専門看護師で、コーディネーター養成のための検討・立案を行う。</p> <p>(2)コーディネーター養成研修会の開催 在宅緩和ケアコーディネーター力向上研修会を全県の地区を対象に行う。</p> <p>3. 全県展開のための他地区へのモデル事業の普及・啓発を目的に、新しい地域への事業説明会を開催する。</p> <p>4. 本年度の事情推進のための愛媛県在宅緩和ケア推進協議会委員会を開催する。</p>
事業実施スケジュール	<p>1. 宇和島モデル事業 在宅緩和ケア運営委員会及び、症例検討会：毎月開催予定 計12回開催</p> <p>2. コーディネーター養成研修事業</p> <p>(1)在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会 集合研修(プログラムは 27 年度作成・実施後、評価・修正したもの) 3日間 愛媛県在宅緩和ケア推進協議会による修了証の発行予定 受講者 50 名程度(東・中・南予それぞれで日常的に在宅緩和ケアに携わっている者) :受講後、各地域で会議を開催し、課題の改善に取り組むことを条件とする</p> <p>(2)在宅緩和ケアコーディネーター会議 ・開催予定 1回/月 ・内 容 事例検討会による相互教育 モデル事業内におけるコーディネーター活動の意見交換 ・構 成 員 在宅緩和ケアコーディネーター5 名 :大洲(1)・今治(1)・八幡浜(1)・宇和島(2) 2018 年度在宅緩和ケアコーディネーター養成研修受講者 県内がん看護専門看護師 5名 愛媛大学医学部看護学科の先生 2名 協議会委員・地域看護専門看護師 1名(吉田)</p> <p>・開催方法 東予・中予・南予の各地区に分け、上記構成員を招へいし、松山市内で開催</p> <p>(3)在宅緩和ケアコーディネーター認証(上記構成員に対し)</p> <p>3. 説明会を、本年度1か所で開催予定</p> <p>4. 愛媛県在宅緩和ケア推進協議会委員会を、本年度2回開催予定</p>
備考	事業規模:6,522,000 円

各地区事例検討会 一覧

今治地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2017/05/10	(今治の振り返り症例)	57	8	19	4	0	17	9	
2017/07/05	(今治の振り返り症例)	82	13	26	5	2	24	12	

大洲地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2017/04/22	介護症例振り返り、エントリーケースの検討	29	9	11	3	2	1	3	
2017/05/27	介護症例振り返り、エントリーケースの検討	32	8	10	5	4	2	3	
2017/06/24	介護症例振り返り、エントリーケースの検討	36	11	11	5	5	2	2	※医師には歯科医師1名含む
2017/07/22	介護症例振り返り、エントリーケースの検討	35	12	13	3	3	1	3	※医師には歯科医師1名含む
2017/08/26	介護症例振り返り、エントリーケースの検討	37	11	12	4	5	1	4	※医師には歯科医師1名含む

八幡浜地区										
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	歯科医	看護師 保健師	薬剤師	ケア マネ	その他	松山	
2017/04/07	(八幡浜の振り返り症例)	44	7	1	20	1	8	4	3	
2017/05/07	(八幡浜の振り返り症例)	84	8	2	22	11	26	12	3	
2017/06/02	(八幡浜の振り返り症例)	66	7	2	20	0	20	14	3	
2017/07/07	(八幡浜の振り返り症例)	72	8	1	24	4	14	18	3	
2017/08/04	(八幡浜の振り返り症例)	63	8	2	14	6	17	13	3	

宇和島地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
2017/04/26	第12回症例検討会 膵臓がん末期の疼痛コントロール①(ゆらり 菅原)	45	9	23	2	1	7	3	
2017/05/24	第13回症例検討会 12回症例その後の経過②(ゆらり 菅原) ②(愛ほっと 山内)	50	6	25	7	1	7	4	
2017/06/28	第14回症例検討会 ③(愛ほっと山内) BSCを選択した74歳女性へのしえん(JCHO 原)	65	11	30	6	2	8	8	
2017/07/26	第15回症例検討会 ②(ニチイ 上甲) 腎臓癌と共に(げんき 清水) 膀胱直腸瘻(うわじ	72	12	37	10	0	8	5	
2017/08/23	第16回症例検討会 肺がんで脳転移がある59歳男性へのかかわり(医師会 佐々木)	64	11	25	11	3	7	7	

松山地区									
開催年月日	テーマ	参加人数	医師	看護師 保健師	薬剤師	MSW 相談員	ケア マネ	その他	
5月12日	①在宅緩和ケアにおける訪問看護師の役割とは? ②かかりつけ医との情報共有の在り方と、事前指示について。	72	18	34	7	1	8	4	
7月28日	①家族を看取った遺族ががん患者になったときのような支援ができるか。 ②呼吸困難の緩和について	66	17	20	21	0	6	2	

各地区の在宅緩和ケア実施件数と在宅看取り率

地域	実施年度	実施件数	死亡数	在宅死亡数	在宅看取り率
今治地区	2012年 5月－2014年 3月	28	28	12	42.9%
	2014年 4月－2015年 3月	21	21	13	61.9%
	2015年 4月－2016年 3月	18	17	8	47.1%
	2016年 4月－2017年 3月	6	5	3	60.0%
	2017年 4月－2017年 8月	5	3	2	66.7%
	全 期 間	78	74	38	51.4%
大洲地区	2012年 5月－2014年 3月	28	26	11	42.3%
	2014年 4月－2015年 3月	13	9	6	66.7%
	2015年 4月－2016年 3月	16	13	9	69.2%
	2016年 4月－2017年 3月	29	23	10	43.5%
	2017年 4月－2017年 8月	14	9	4	44.4%
	全 期 間	100	80	40	50.0%
八幡浜地区	2014年 4月－2015年 3月	18	17	10	58.8%
	2015年 4月－2016年 3月	28	22	10	45.5%
	2016年 4月－2017年 3月	41	26	17	65.4%
	2017年 4月－2017年 8月	17	13	4	30.8%
	全 期 間	104	78	41	52.6%
宇和島地区	2016年 4月－2017年 3月	6	6	2	33.3%
	2017年 4月－2017年 8月	12	7	3	42.9%
	全 期 間	18	13	5	38.5%

西条地区モデル事業推進のための準備

1. 2017年6月19日 西条市役所にて西条市長玉井敏久氏と面談
愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業について説明を行う。

出席者：西条市 市長

西条市役所 保健福祉部部長

西条市役所 保健福祉部副部長兼健康医療推進課長

西条市医師会 事務長

愛媛県薬剤師会西条支部 支部長

働く人とその家族サポートセンター 理事

西条中央病院患者支援センター 室長

松山ベテル病院

玉井敏久

西川四朗

近藤孝和

稲井義隆

中西雅哉

越智直志

安藤キクエ

中橋 恒

2. 2017年7月6日 松浦皮膚科医院にて西条市医師会長 松浦 裕 先生と面談

出席者：西条市 市長

西条市医師会 会長

西条市医師会 事務長

松山ベテル病院

玉井敏久

松浦 裕

稲井義隆

中橋 恒

平成 29 年度第 1 回 愛媛県在宅緩和ケア推進協議会
愛媛県在宅緩和ケアコーディネーター養成事業報告

1. 平成 29 年度企画運営委員

【名簿】

吉田美由紀（委員長）

宮岡範子・野口留美・中村一人・矢原真由美・清水建哉・井上幸子・佐々木英子・

武田千津・得能裕子・塩見美幸・宮脇聡子・上杉和美・太田多佳子・田中久美子・菊内由貴

【構成】

- ・在宅緩和ケアコーディネーター7名：大洲（1）今治（3）八幡浜（1）宇和島（2）
- ・地域看護専門看護師1名/がん看護専門看護師6名
- ・在宅緩和ケア推進協議会委員2名（1名重複あり）
- ・愛媛大学大学院看護学専攻教員1名

2. 運営体制

表中 CN：コーディネーター

会議・企画名称		平成 28 年度実績		平成 29 年度実績および予定		
		担当委員	開催	担当委員	開催	備考
在宅緩和ケア コーディネーター 養成	新規養成研修	全委員	1・2・3月	全委員	1・2・3月	開催場所：愛媛大学
	サポーター研修			全委員	年2回 (7・11)	開催場所：愛媛大学
	コーディネーター フォローアップ： 今治・宇和島			・今治 CN ・宇和島 CN ・吉田・太田	2ヶ月毎	・新規 CN の支援
在宅緩和ケア コーディネーター 一会議	中央版	全委員	2ヶ月毎	全委員	2ヶ月毎	・企画運営：実動 CN ・CN の活動報告と事例検討 ・養成研修会企画会議

3. 平成 29 年度実施および予定

1) 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修会（新規養成予定）

平成 30 年 1 月 20 日（土） 2 月 10 日（土） 3 月 3 日（土）

2) サポーター研修（第 1 回実施、第 2 回予定）

(1) 第 1 回（実施）

①日時/場所/参加者

平成 29 年 7 月 15 日（土） 13:30~16:30 愛媛大学医学部看護学科 参加者 31 名

②研修概要

愛媛県在宅緩和ケアサポーター研修は、愛媛県在宅緩和ケアコーディネーター研修を修了した人の能力向上のためのフォローアップとして企画。

※愛媛県在宅緩和ケアコーディネーターとは：余命 6 ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させる人

③研修目標

余命 6 ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させるための連携調整のポイントを言語化することができる

④対象

以下 2 つの要件を満たす者

- 平成 27 年度在宅緩和ケアコーディネーター能力向上研修/平成 28 年度在宅緩和ケアコーディネーター養成研修のどちらかを修了している者
- 余命 6 ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させるための業務に現在携わっている者

⑤内容

時間	項目	内容	備考
13:30~	オリエンテーション	<p>研修の目的： <u>余命 6 ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させるための能力を向上させる</u></p> <p>対象：<u>余命 6 ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させるための業務に携わっている者</u></p> <p>研修目標： 研修①（7 月）協働する様々な立場からの患者像を理解できる 研修②（11 月）全体像の把握ができる</p>	
	事例提供	12/28 16:30 依頼事例	
	事例に対する印象	<p>目標：それぞれの立場での感情を言語化することができる</p> <p>方法：GW 同職種 GP で出し合う</p>	感じたままの気持ちを、良い悪いの評価をせず表出することを促す
	事例における調整の方向性 I	<p>目標：それぞれの立場での具体的な調整の方向性（①誰に（どの職種に）②どのような内容を③どうしてもらおうことを目指すか）について言語化することができる</p>	

		方法：同立場 GW (病院・訪看・居宅別)	
	事例における調整の方向性Ⅱ	目標：それぞれの立場での具体的な調整の方向性 (①誰に(どの職種に)②どのような内容を③どうしてもらおうことを目指すか)について言語化することができる 方法：異立場 GW (病院・訪看・居宅混)	
	事例の希望を叶える調整	目標：事例の希望を叶えるための方策について言語化できる	
	事例におけるコーディネーターの役割確認	目標：事例において検討した調整の方策を、「資料：コーディネーターの役割」に照らして紐づけすることができる	
	もやもや解消タイム	目標： ・本日の研修の中で解決できていないもやもやを言語化できる ・言語化されたもやもやについて、会場全体で解決策を見出すことができる 方法：全体ディスカッション	
～16:30	アンケート記入 次回アナウンス		

(2) 第2回(予定)

①日時/場所

平成29年11月18日(土) 13:30~16:30 愛媛大学医学部看護学科

②研修目標

余命6ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させるための全体像をとらえ言語化することができる

3) 在宅緩和ケアコーディネーター会議(中央版・地元版)

(1) 在宅緩和ケアコーディネーター会議(中央版)

① 企画運営：企画運営の中心を実動コーディネーターが担当する

② 会議招聘人数：吉田委員長より、コーディネーター以外の委員の負担軽減のために、会議招聘人数を削減すること、その都度数人に声をかけることについて提案された。これに対し委員からは、時期により都合も変わるので、ひとまず招聘声掛けしてもらっても構わないという意見があった。以上踏まえ、29年度の会議招聘は全委員に対して案内することとする。

③ 実施および予定

第1回(実施)	平成29年	6月13日(火)	15:00-17:00	愛媛大学医学部看護学科
第2回(実施)	平成29年	7月15日(土)	10:00-12:00	愛媛大学医学部看護学科
第3回(予定)	平成29年	11月18日(土)	17:00-18:00	愛媛大学医学部看護学科
第4回(予定)	平成30年	1月20日(土)	17:00-18:00	愛媛大学医学部看護学科
第5回(予定)	平成30年	2月10日(土)	17:00-18:00	愛媛大学医学部看護学科
第6回(予定)	平成30年	3月3日(土)	17:00-18:00	愛媛大学医学部看護学科

(2) 在宅緩和ケアコーディネーター会議(地元版)

今治版および宇和島版の支援：新たに養成したコーディネーターの支援を行う。支援方法は、各地元の在宅緩和ケア研究会の前の時間を活用して吉田委員長、太田委員が実施する。

4. コーディネーター養成に関わる長期構想の検討

1) 目標設定

【長期目標】

愛媛県在宅緩和ケアコーディネーター養成は、愛媛県在宅緩和ケアモデルを参考に、愛媛県内の東予・南予地域における愛媛県在宅緩和ケアコーディネーターを中心とした在宅医療チームの構築および在宅緩和ケアの質向上のための支援体制の維持を目指すものである(図1)。

【具体目標】

- ① 新規モデル地域(西条・新居浜・西予)の構築に向けたコーディネーターの選定と活動支援を行う
- ② 在宅緩和ケアコーディネーター養成研修運営実行委員は、地元モデルのコーディネーターが活動地域の在宅緩和ケアサポーターのコーディネーター能力向上に向けた活動を行えるよう支援する
- ③ 地元モデルのコーディネーターは、研修運営実行委員と連携しながら活動地域の在宅緩和ケアサポーターのコーディネーター能力向上に向けた活動を行う

【愛媛県在宅緩和ケアコーディネーターとは】

余命6ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・地域の医療/介護関係者の間を調整してスムーズに療養生活への意向を実現させる人

【愛媛県在宅緩和ケアサポーターとは】

余命6ヶ月以内の病気を抱えた患者が、安心して在宅緩和ケアが受けられるように、患者・家族・またはコーディネーターなどの適切な窓口につなぎ地域の医療/介護関係者との協働を促進できる人

2) 29年度以降のコーディネーター養成の対象選定

28年度は、主任ケアマネジャー、がん診療連携拠点病院、企画員の評価を元にターゲットに広報を実施した。今後は、主任ケアマネジャーを育成する立場にある地域包括支援センターや地域の中核となる機関をターゲットにする等、愛媛県としての在宅緩和ケアコーディネーターの活用、人材の発掘を踏まえた意図的な対象選定方法について検討する方向である。

3) 研修運営のシステム化の推進

(1) 広報体制の構築

①愛媛県在宅緩和ケア協議会 HP 構築

<https://liteuse.com/ehimezaitaku>

②協議会 HP のリンク先の開拓

- ・四国がんセンター患者・家族総合支援センター
- ・愛媛県庁
- ・愛媛県社会福祉協議会
- ・愛媛県介護支援専門員協会
- ・その他検討中

(2) 事務局機能の構築

①事務局専用メールアドレス設置

ehimezaitaku@gmail.com

②グーグルフォームを活用した研修申込管理

例) 29年度第2回 愛媛県在宅緩和ケアサポーター研修申し込みフォーム

<https://goo.gl/forms/2u6DjiXPqmfzKGZt1>

③グーグルフォーム等を活用したアンケート管理導入

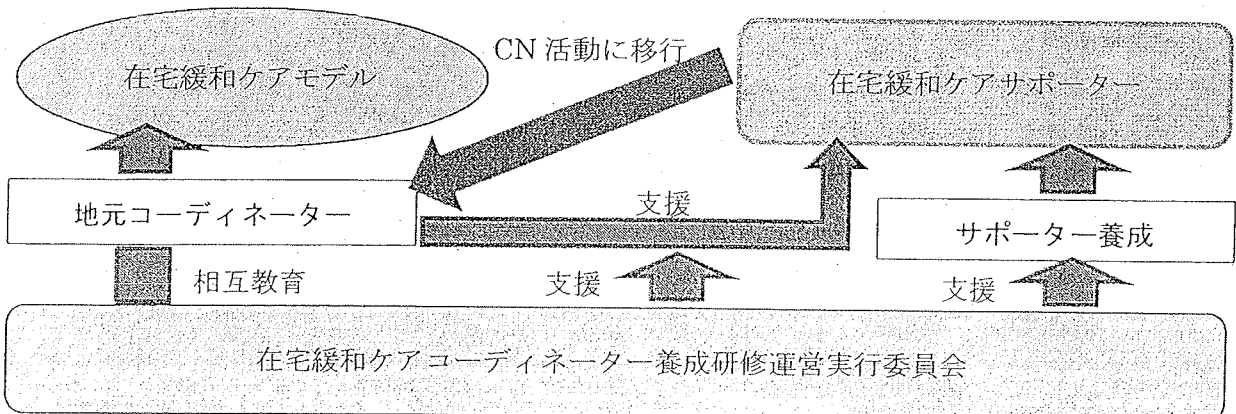


図1 地元ケアコーディネーターを中心とした人材育成体制